

# 平成29年度愛媛県原子力防災訓練結果の概要

## 1 訓練の目的

伊方発電所で事故が発生した場合に備え、緊急時における災害対策の習熟と防災関係機関の相互協力体制の強化を図るとともに、県民の原子力防災に対する理解を促進することを目的とする。

## 2 実施日時

平成29年11月14日（火） 8：30～15：00

## 3 実施場所

愛媛県庁ほか、発電所を中心とした概ね半径30km以内の地域を中心とする県内全市町及び近隣県

## 4 参加機関及び参加人数

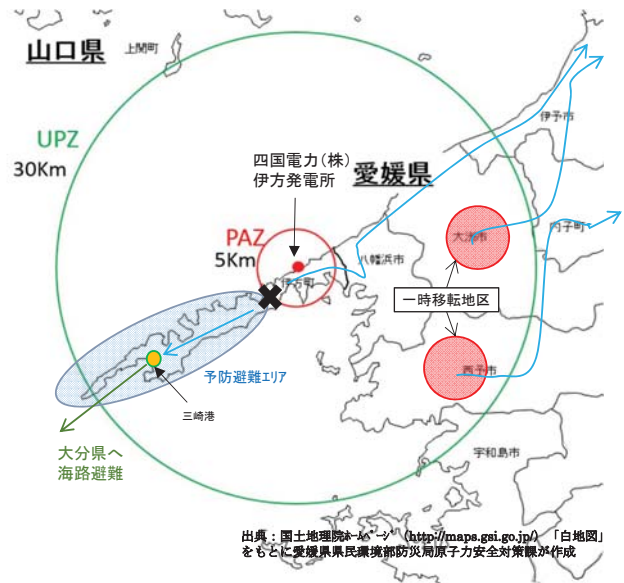
100機関 23,766人

(内訳)

広域避難参加者	465人（うち海路避難332人）
屋内退避参加者	21,821人
関係機関参加者	1,480人

## 5 訓練実施項目

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| (1) 緊急時通信連絡訓練    | (2) 緊急時モニタリング訓練 |
| (3) 災害広報訓練       | (4) 災害対策本部訓練    |
| (5) 福祉センター運営訓練   | (6) 原子力災害医療活動訓練 |
| (7) 自衛隊等災害派遣要請訓練 | (8) 住民避難・誘導訓練   |
| (9) 要配慮者避難訓練     | (10) 交通規制訓練     |
| (11) 発電所内緊急時対応訓練 | (12) 道路啓開訓練     |



※PAZ（予防的防護措置を準備する区域）  
 (Precautionary Action Zone)  
 ※UPZ（緊急時防護措置を準備する区域）  
 (Urgent Protective Action Planning Zone)  
 ※予防避難エリア  
 (PAZ圏に準じた避難等の防護措置を準備する区域)

### <訓練想定>

- 地震発生に伴い、伊方発電所3号機の原子炉が自動停止した後、全交流電源の喪失及び1次冷却材の漏えいが発生したことにより、原子炉格納容器の破損に至り、放射性物質の放出による影響が発電所周辺地域に生じた。
- 旧伊方町と旧瀬戸町の境界付近で道路寸断。
- 大洲市及び高予市の一部地区で、一時移転指示。

## 主な新規・拡充した訓練

- ドローンにより伊方町内の一部避難経路の状況確認(映像伝送試験)【新規】
- 臨時災害放送(FM放送)による情報発信(伊方地域)【新規】
- より多くの住民参加による大分県への海路避難【拡充】
- 大分県への海路避難において、新たな着岸港(別府港)での避難者受入れ訓練【拡充】  
 ①海上自衛隊「しもきた」により別府港へ(新規)、②国道九四フェリーにより佐賀関港へ(継続)
- 広域避難計画啓発用DVDを活用した講習会の実施【新規】

